

おうみ

青海地区

(新潟県糸魚川市)

- 計画期間 平成25年度～平成29年度
- 面積 237ha
- 交付対象事業費 141.5百万円
- 市人口 43,352人 (地区内人口 6,800人)

ポイント 子供からお年寄りまで安心して暮らせる、安全なまちづくり

地区概要 安全な居住環境をつくるための道路整備、地域の防災力を高める避難所となる公園整備により、地域住民が快適に生活できる基盤づくりを進める。

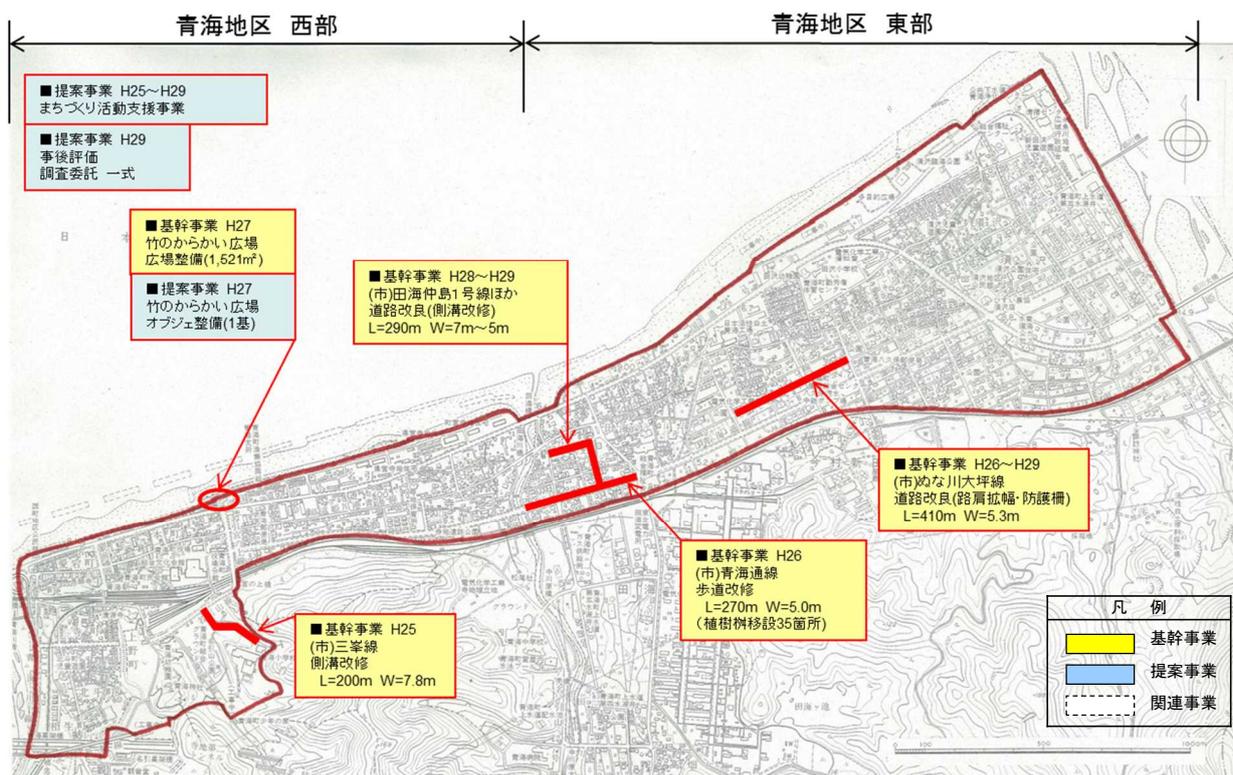
目標 糸魚川市青海エリアにおいて、道路整備及び、避難可能な公園整備を実施し、「歩行者が安全に歩ける道づくり」と「安心して生活するための防災機能の充実」により、美しく快適な住みよいまちづくりを図る。

指標 道路整備による歩行者が安全に通行できる動線の確保、災害時歩行により避難可能な公園整備により、安心・安全なまちづくりを目指す。

安全に通行できる人数の増加率	0% (H24)	→	36.2% (H29)
避難所となる公園等の未整備率	4.1% (H24)	→	2.0% (H27)
地域環境美化活動参加者数	2,700人 (H24)	→	3,000人 (H29)

環境美化等のまちづくり活動を通じて、地域コミュニティへの参加を促すことにより、住みよいまちづくりを目指す。

事業内容 基幹事業 (134百万円) → 道路 (幅員 4.0m～22.0m、延長 1,170m)、公園整備 (1,521m²)
 提案事業 (7.5百万円) → 竹のからかい広場オブジェ 1基 等



地区の現況と課題

青海地区の現況

東西に細長く日本海に面し、背後には山林が迫る狭隘な地形をなし、そこへ南北を分断する形で一般国道 8 号及び JR 北陸本線が通過し、加えて北陸新幹線が新たに建設されている。

青海地区の課題

青海地区は、セメント等石灰石産業を主とする大手企業があり、朝夕の通勤時においては、慢性的な交通渋滞となっている。そのため、地域の生活道路において、住民が安全に歩きやすい歩行環境の整備が求められている。

また、旧来からの市街で木造住宅が連担しており、かつ、公園整備が無いエリアがあるため、特に大規模火災発生時における避難所整備が求められ防災機能の充実が課題となっている。



▲狭隘な生活道路

提案事業の特徴

竹のからかい広場オブジェ設置

地元の国指定重要無形民俗文化財である「竹のからかい」をアピールしたオブジェを「竹のからかい広場」に設置。

まちづくり活動支援事業

地域で自発的に行われる清掃活動及び緑化活動等のまちづくり活動を支援することにより、まちづくり活動への参加者を増やし地域コミュニティの活性化を図る。



▲国指定重要無形民俗文化財「竹のからかい」

完了地区
新潟県

計画策定プロセス

これまでの計画と事業の実施

糸魚川市総合計画において、市民生活重視の立場に立った市民参画による計画づくりや実施をすることで、市民と行政が一体となりまちづくりを進めるとされている。その基本目標の一つに「美しく快適な住みよいまちづくり」が位置づけられている。

地元関係者等への説明会

歩きやすい道路の整備については、道路管理者などの関係機関との協議により道路計画の作成後、地元関係者、地権者への説明会において事業の趣旨説明と協力要請。

災害発生時の避難場所整備「竹のからかい広場」については、地元関係者、地権者へ事業の趣旨説明と協力要請。



▲竹のからかい広場整備箇所